

# 検査項目変更のお知らせ

謹啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。  
平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。  
この度、検査項目の変更について、下記の通りご案内いたします。  
健康と医療の未来に貢献すべく、より良い検査サービスのご提供に努めてまいります。

謹白

記

## ■ 新規採用項目

■ 実施日 2021年10月1日(金) ご依頼分より

総合検査案内 掲載コード	検査項目 JLAC10	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査 方法	基準値 (単位)	備考
A446 6	トリヨードサイロニン (T3) [CLEIA] 4B010 0000 023 052	血清 0.5	S09 ↓ A00 (X)	冷蔵 (21日)	2~4	CLEIA		0.62~1.16 (ng/mL)	
A452 9	サイロキシシン (T4) [CLEIA] 4B030 0000 023 052							4.53~8.38 (μg/dL)	
A475 4	TSHレセプター抗体 [CLEIA] 5G310 0000 023 052	血清 0.8						2.0未満 (IU/L)	
A458 3	抗甲状腺ペルオキシダーゼ抗体 (抗TPO抗体) [CLEIA] 5G285 0000 023 052	血清 0.5						3.3未満 (IU/mL)	
A469 1	抗サイログロブリン抗体 [CL EIA] 5G290 0000 023 052							19.3未満 (IU/mL)	
A472 7	サイログロブリン [CLEIA] 4B040 0000 023 052			冷蔵 (23日)				35.1以下 (ng/mL)	

※5: 生化学的検査 (II) 判断料  
※6: 免疫学的検査判断料

現在の実施項目「3021 4: トリヨードサイロニン (T3)」、「3024 1: サイロキシシン (T4)」、「K248 6: TSHレセプター抗体 (第3世代)」、「4499 4: 抗甲状腺ペルオキシダーゼ抗体 (抗TPO抗体)」、「3030 4: 抗サイログロブリン抗体」、「3028 7: サイログロブリン」は2021年 9月 30日 (木) ご依頼分をもって受託中止いたします。

## ■ 検査内容変更項目

■ 実施日 2021年9月3日(金) ご依頼分より

総合検査案内掲載コード	検査項目	変更内容	新	現	備考	
7925 7	肺サーファクタント プロテインD(SP-D) 3F253 0000 023 052	項目コード	B146 8	7925 7	全自動測定機器へ搭載可能な試薬へと変更させていただきます。	
		検査方法	CLEIA	EIA		
		報告範囲	15.0未満、15.0～99900000	17.2以下、17.3～99900000		
		単位	変更はありません	ng/mL		
		検体量 (mL)	0.5	0.2		
		JLAC10	3F253 0000 023 052	3F253 0000 023 023		
4118 6	フォン・ウィルブランド因子マルチマー解析 2B490 0000 022 233	項目コード	B105 3	4118 6	全自動測定機器へ搭載可能な試薬へと変更させていただきます。	
		検体量 (mL)	0.4	0.5		
		所要日数 (日)	7～11	7～13		
		名称	分画子 1	変更はありません		LARGE 別添
			分画子 2	変更はありません		MEDIUM 別添
			分画子 3	変更はありません		SMALL 別添
分画子 4	削除		SMALLEST 別添			
6175 1	サイトメガロウイルス IgG 5F194 1431 023 051	項目コード	B128 8	6175 1	全自動測定機器へ搭載可能な試薬へと変更させていただきます。	
		検査方法	CLIA	EIA		
		基準値	6.0未満 陰性	2.0未満 陰性		
		単位	AU/mL	なし		
		報告範囲	6.0未満、6.0～249、250以上	2.0未満、2.0～127、128以上		
		報告桁数	有効3、整数8、小数1	有効3、整数5、小数1		
		検体量 (mL)	0.5	0.2		
		備考欄	下記参照 (判定基準は、案内書欄外に記載)	下記参照 (*固相法) (*固相法 [髄液の測定も可能です 検体量 0.4mL (冷蔵) 基準値 0.		
		案内書欄外	※P.7に判定基準についての説明を記載していますのでご参照ください。			
		JLAC10	5F194 1431 023 051	5F194 1431 023 023		
		名称	分画子 1	CMV IgG 抗体		なし
			分画子 2	判定		なし

総合検査案内 掲載コード	検査項目	変更内容	新	現	備考
A265 7	サイトメガロウイルス IgM 5F194 1432 023 051	項目コード	B113 4	A265 7	全自動測定機器へ搭載可能な 試薬へと変更させていただきます。
		検査方法	CLIA	EIA	
		基準値	0.85 未満 陰性	0.80 未満 陰性	
		単位	Index	なし	
		報告範囲	0.10 未満、0.10～ 99900000	0.00～99.9	
		報告桁数	有効 3、整数 8、小数 2	有効 3、整数 2、小数 2	
		検体量 (mL)	0.5	0.2	
		備考欄	下記参照 (判定基準 は、案内書欄外に記 載)	下記参照 (*捕捉法) (*捕捉法 [髄液の測 定も可能です 検体量 0.4mL(冷蔵)基準値 0.80 未満 陰性])	
		案内書欄外	※P.7 に判定基準についての説明を記載していま すのでご参照ください。		
		JLAC10	5F194 1432 023 051	5F194 1432 023 023	
		名称	分画子 1	CMVlgM 抗体	
分画子 2	判定		なし		
3840 5	プロプラノロール 3L895 0000 023 204	所要日数	4～17	4～10	
4018 7	L-ドーパ 4E045 0000 022 204		5～18	5～11	
4010 5	セロトニン 4E065-0000-019-204	所要日数	3～7	3～6	
3129 5	塩基性フェトプロテイン (BFP) 5D025-0000-023-023		2～8	2～4	
3065 6	シアリル Le <sup>x</sup> 抗原 (CSLEX) 5D177-0000-023-023		2～8	2～6	

総合検査案内掲載コード	検査項目	変更内容		新	現	備考
8522 3	ヒトパルボウイルス B19DNA 定性	検体量 (mL)	血清	0.7	0.5	適正な検体量へ変更いたします。
6827 7 6839 4	単純ヘルペスウイルス DNA 定性		髄液	0.7	0.5	
			組織	50 (mg)	5 (mg)	
6837 6	水痘・帯状疱疹ウイルス DNA 定性		髄液	0.7	0.5	
6832 1	サイトメガロウイルス DNA 定性		髄液	0.7	0.5	
6658 5			組織	50 (mg)	5 (mg)	
6831 2			部分尿	0.7	0.5	
4996 2 K131 5 6664 8	ヒトヘルペスウイルス 6 型 DNA 定性	検体量 (mL)	血清	0.7	0.5	
			髄液	0.7	0.5	
			組織	50 (mg)	5 (mg)	
K079 4	ヒトヘルペスウイルス 7 型 DNA 定性		髄液	0.7	0.5	
K299 0 K300 7	ニューモシスチスカリニ (P.jirovecii) DNA		肺胞洗浄液	0.7	0.5	
			胸水	0.7	0.5	

### ※サイトメガロウイルスIgG・サイトメガロウイルスIgMの判定基準

#### ●サイトメガロウイルスIgG・サイトメガロウイルスIgMの判定基準

判定	IgG(AU/mL)	IgM(Index)
陰性	6.0未満	0.85未満
判定保留		0.85~1.00未満※2
陽性	6.0以上※1	1.00以上

※1:6.0~15.0 AU/mLの結果値の際には、適切な期間(例:2週間)内に再採取し再検査をお勧めします。

※2:判定保留の際には、適切な期間(例:2週間)内に再採取し再検査をお勧めします。

## ■ 受託中止項目1

■ 実施日 2021年9月2日(木) ご依頼分をもって受託中止

検査案内 掲載コード	検査項目	備考	
E189 8	ヒトパピローマウイルスDNA (ローリスクグループ) (LBC)	受託数僅少のため	
6734 0	エンテロウイルスRNA 定性		
6560 3	日本脳炎ウイルスRNA 定性		
6065 3	インフルエンザウイルスRNA 定性		
6662 0 血液 4998 0 髄液	麻疹ウイルスRNA 定性		
6663 9 血液 7621 4 髄液	ムンプスウイルスRNA 定性		
A321 4 部分尿 L792 1 分泌物	マイコプラズマジェニタリウムrRNA 定性		
6044 6	麻疹ウイルス (HI)	試薬発売中止のため	代替項目：6183 2 麻疹ウイルスIgG
0162 1 分泌物 E326 5 咽頭ぬぐい液 0145 0 部分尿 A062 2 うがい液	淋菌およびクラミジアトラコマチスrRNA同時同定	項目統合のため	代替項目： A004 6 分泌物 A005 5 部分尿 A006 4 うがい液 淋菌およびクラミジアトラコ マチスDNA同時同定

## ■ 受託中止項目2

■ 2021年9月30日(木) ご依頼分をもって受託中止

検査案内 掲載コード	検査項目	備考
3021 4	トリヨードサイロニン (T3)	新規項目受託開始に伴う受託中止
3024 1	サイロキシン (T4)	
K248 6	TSHレセプター抗体 (第3世代)	
4499 4	抗甲状腺ペルオキシダーゼ抗体 (抗TPO抗体)	
3030 4	抗サイログロブリン抗体	
3028 7	サイログロブリン	
3223 0	リボ蛋白分画 (ポリアクリルアミドゲルディスク電気泳動法)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・試薬販売中止に伴う受託中止</li> <li>・測定機器の老朽化に伴う受託中止 (後継機種がなく安定的な検査継続実施ができない状況でございます)</li> <li>・代替項目は下記となります。 3211 3 リボ蛋白分画 (アガロースゲル電気泳動法)</li> </ul>

上記検査の受託中止に伴い、代替項目として「A446 6：トリヨードサイロニン (T3) [CLEIA]」、「A452 9：サイロキシン (T4) [CLEIA]」、「A475 4：TSHレセプター抗体 [CLEIA]」、「A458 3：抗甲状腺ペルオキシダーゼ抗体 (抗TPO抗体) [CLEIA]」、「A469 1：抗サイログロブリン抗体 [CLEIA]」、「A472 7：サイログロブリン [CLEIA]」を2021年4月28日(水) ご依頼分より受託開始いたします。

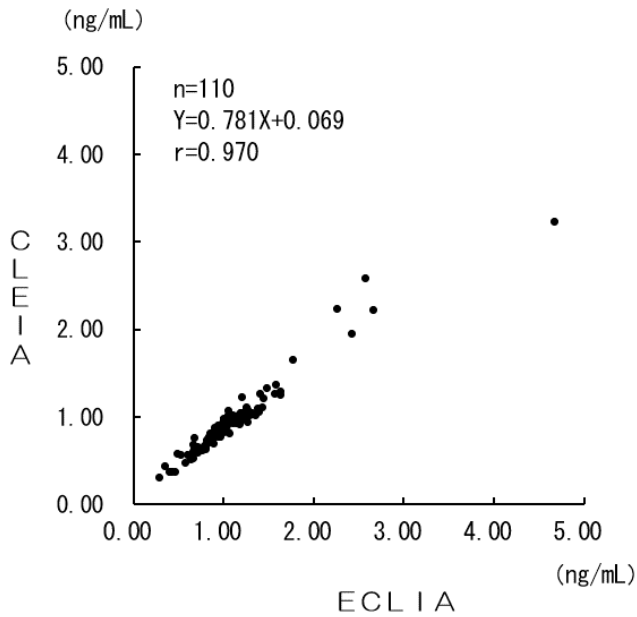
詳細は、SRL NEWS No.2021-M18をご参照ください。

## ● トリヨードサイロニン (T3) [CLEIA]

### ●参考文献

池田 斉：臨床検査 38 (11) : 102~103, 1994. (臨床的意義参考文献)

### ●相関



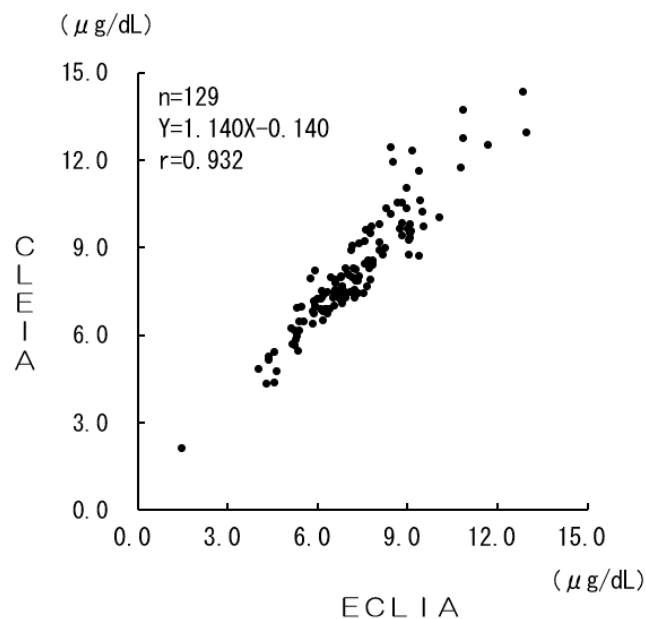
2021年4月1日発行分より報告範囲および桁数の情報を追記してご案内いたします。

## ● サイロキシン (T4) [CLEIA]

### ●参考文献

女屋 敏正：臨床検査 38 (11) : 99~101, 1994. (臨床的意義参考文献)

### ●相関



2021年4月1日発行分より報告範囲および桁数の情報を追記してご案内いたします。

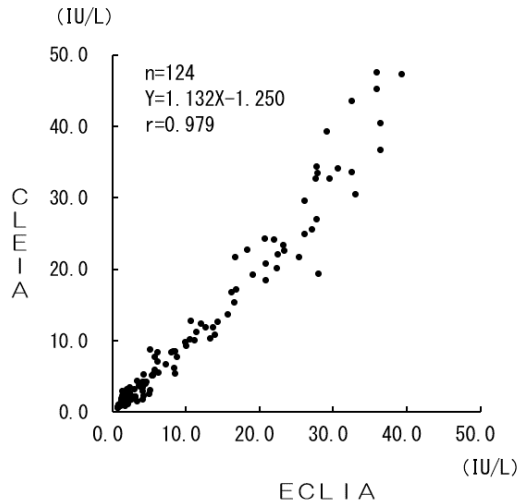
## ● TSHレセプター抗体〔CLEIA〕

### ●参考文献

矢野 美沙紀, 他: 医学と薬学 77 (5) : 793~804, 2020. (検査方法参考文献)

古田島 伸雄, 他: 日本臨床検査自動化学会誌 39 (1) : 39~43, 2014. (臨床的意義参考文献)

### ●相関



(カットオフ値による一致表: 単位 IU/L)

		ECLIA		計
		2.0≤	<2.0	
CLEIA	2.0≤	86	2	88
	<2.0	11	25	36
計		97	27	124

2021年4月1日発行分より報告範囲および桁数の情報を追記してご案内いたします。

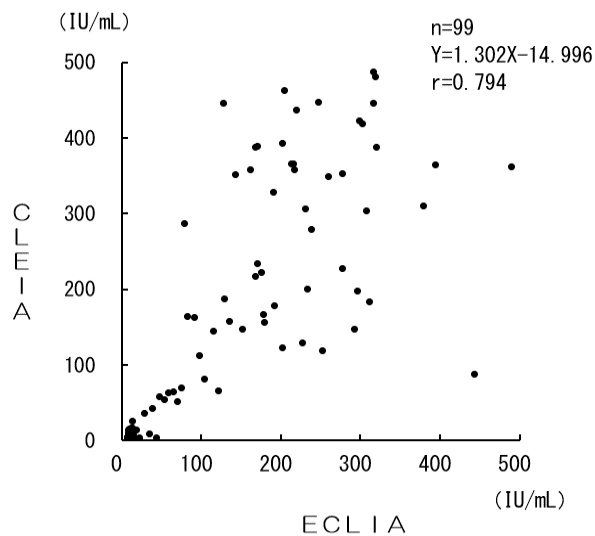
## ● 抗甲状腺ペルオキシダーゼ抗体 (抗TPO抗体)〔CLEIA〕

### ●参考文献

矢野 美沙紀, 他: 医学と薬学 77 (5) : 793~804, 2020. (検査方法参考文献)

戸井田 晋, 他: ホルモンと臨床 43 (11) : 1107~1115, 1995. (臨床的意義参考文献)

### ●相関



(カットオフ値による一致表: 単位 IU/mL)

		ECLIA		計
		16≤	<16	
CLEIA	3.3≤	63	13	76
	<3.3	3	20	23
計		66	33	99

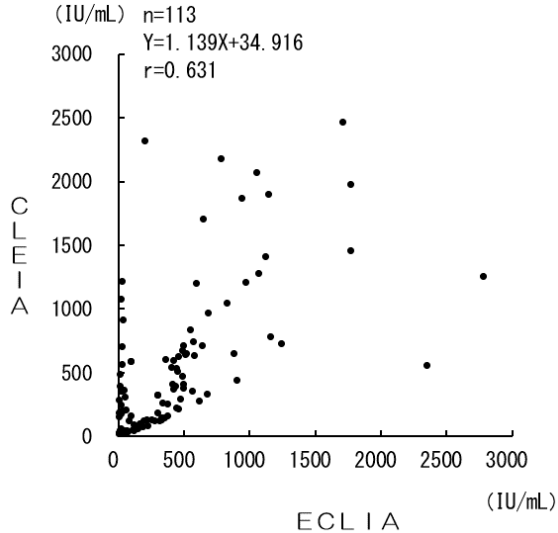
2021年4月1日発行分より報告範囲および桁数の情報を追記してご案内いたします。

## ● 抗サイログロブリン抗体〔CLEIA〕

### ●参考文献

矢野 美沙紀, 他: 医学と薬学 77 (5) : 793~804, 2020. (検査方法参考文献)  
 戸井田 晋, 他: ホルモンと臨床 43 (11) : 1107~1115, 1995. (臨床的意義参考文献)

### ●相関



(カットオフ値による一致表: 単位 IU/mL)

		ECLIA		計
		28≤	<28	
CLEIA	19.3≤	94	12	106
	<19.3	2	38	40
計		96	50	146

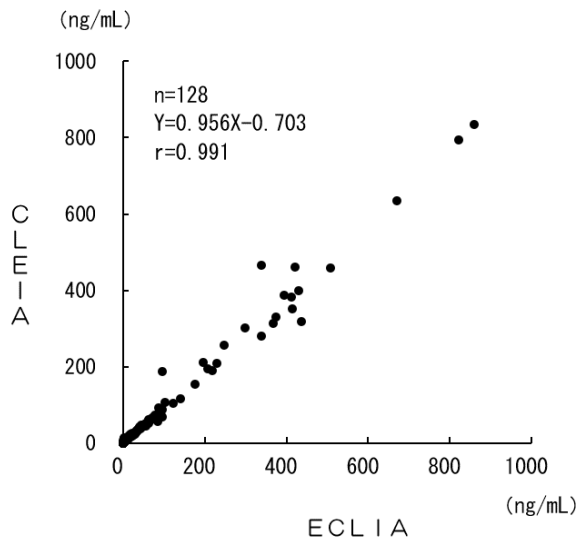
2021年4月1日発行分より報告範囲および桁数の情報を追記してご案内いたします。

## ● サイログロブリン〔CLEIA〕

### ●参考文献

北村 由之, 他: 医学と薬学 77 (12) : 1683~1690, 2020. (検査方法参考文献)  
 武田 京子: ホルモンと臨床 59 (6) : 517~523, 2011. (臨床的意義参考文献)

### ●相関

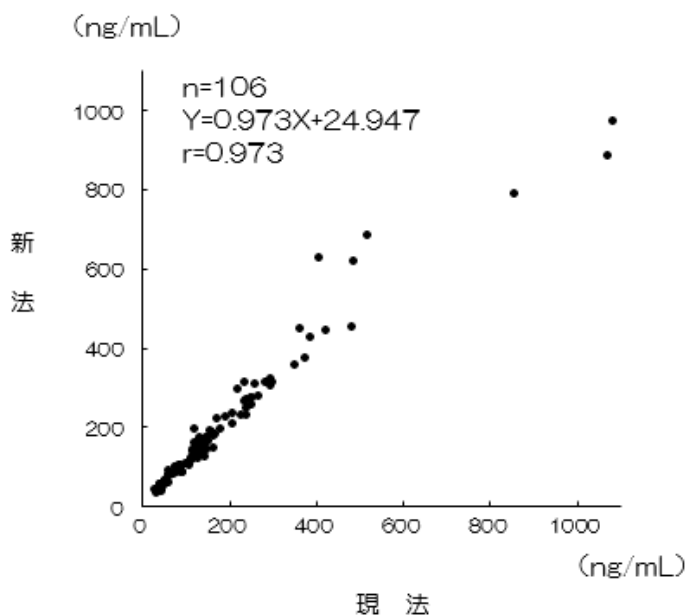


2021年4月1日発行分より報告範囲および桁数の情報を追記してご案内いたします。



● 肺サーファクタント プロテイン D(SP-D)

▼現法と新法の比較



●検査方法参考文献

土居 耕介, 他: 医学と薬学 78 (3) : 261~267, 2021.

● フォン・ウィルブランド因子マルチマー解析

▼現法と新法の比較

相関一致表

		現法	
		NORMAL	ABNORMAL
新法	NORMAL	20	1
	ABNORMAL	0	9

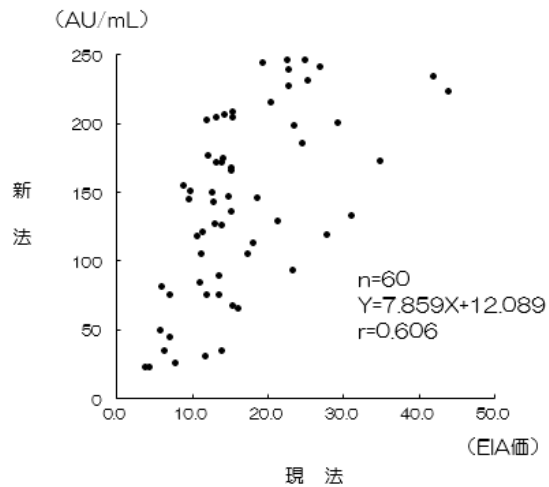
判定一致率: 96.7% N=30

●検査方法参考文献

Susan Oliver et al : international journal of laboratory hematology 41 (6) : 762~771, 2019.

## ● サイトメガロウイルス IgG

### ▼現法と新法の比較



相関一致表

		現法		
		-	±	+
新法	-	27	2	0
	±	0	0	0
	+	0	1	87

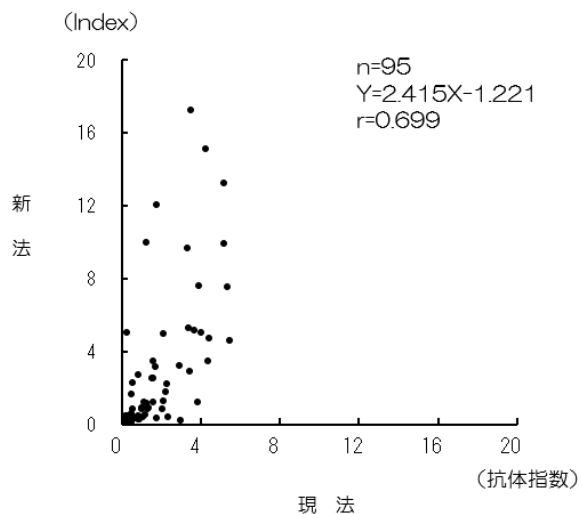
一致率：95.3% (N=117)

### ●検査方法参考文献

熊田 洋高, 他：医学と薬学72 (6)：1087~1094, 2015.

## ● サイトメガロウイルス IgM

### ▼現法と新法の比較



相関一致表

		現法		
		-	±	+
新法	-	68	6	6
	±	0	1	1
	+	2	2	29

一致率：85.2% (N=115)

### ●検査方法参考文献

熊田 洋高, 他：医学と薬学72 (6)：1087~1094, 2015.